

家族でニコニコチャレンジ①取り組みの様子



令和4年6月～7月実施

● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

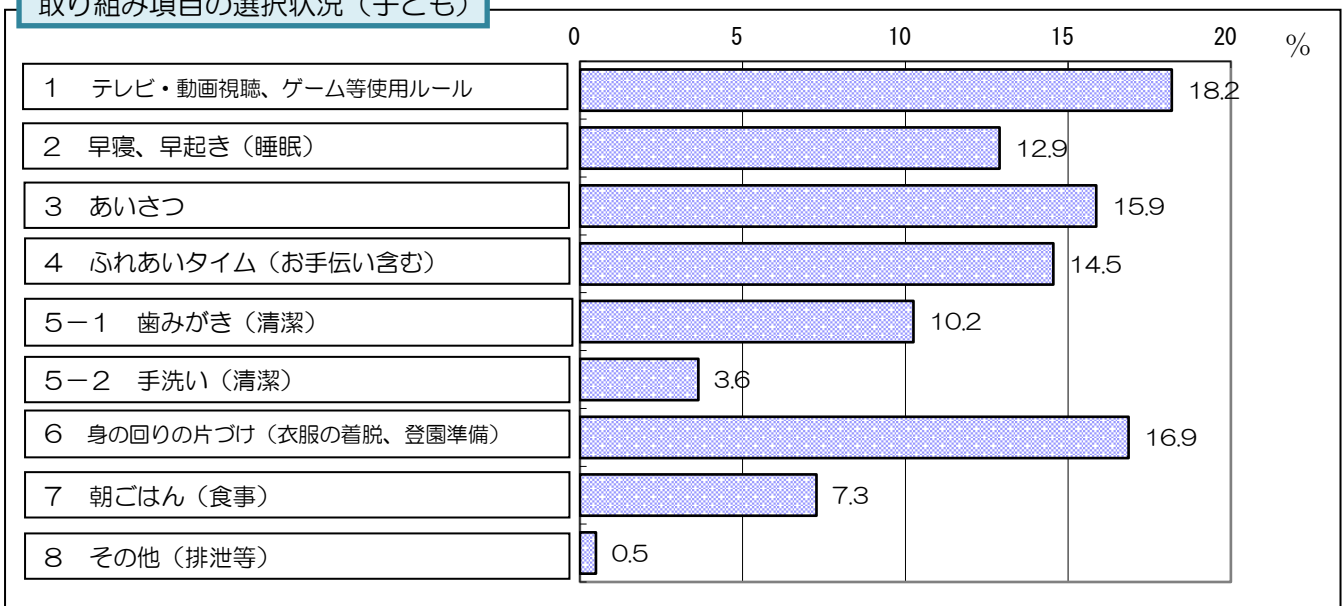
家族で意識しやすいように「家族チャレンジャー」も一緒に取り組んでいただき、家族が基本的な生活習慣の定着に向けた「手本」となり、子どもたちも張り切って取り組んだ様子が伝わってきました。初めは上手いかなくても、園で話題にしたり家族で楽しみを見つけたりしながら続けることで徐々に「自分から」取り組もうと頑張る様子があったとの報告も多くなりました。継続することで、子どもたちの自律心、充実感、意欲の向上につながっています。

<取り組み状況>

集計協力園/年長児在園 43園/44園

回収率…95.2%（報告園の提出者数：594名/報告園での配布者数：624名）

取り組み項目の選択状況（子ども）



家族チャレンジャーの状況

※複数回答含む

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他	なし
124	437	23	30	4	5	0	0	6	6

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ。複数回答含む

取組項目番号	1	2	3	4	5-1	5-2	6	7	8
人数（人）	84	75	84	198	39	24	34	29	23
割合（%）	14.2	12.7	14.2	33.6	6.6	4.1	5.8	4.9	3.9

保護者からの感想等

《子どもの様子に関わる感想》

親に声を掛けられてから始めていましたが、2～3日経つと子どもの方から「今日もやろうよ！」と声を掛けてくれるようになりました。一緒にそして楽しく取り組むことができると習慣化できるようになるんだと改めて感じました。

「にっこり笑顔でおはよう」という目標で取り組みました。「にっこり」を意識したことで気持ちのいい朝を迎えることができ、その影響で「にっこり」の気持ちで行動をし、様々なことに意欲的になっていきました。

(食事に関する項目)「筋肉もりもり」になりたいらしく、毎朝毎晩きちんと食べていました。そして毎日、筋肉ポーズをしてくれました。これからもきちんと食べて活力につなげてほしいです。

《家族の関わり方に関わる感想》

「親も一緒に頑張る」という概念がなく、今回改めて、まずは親がその姿勢を見せることが大切だと気付きました。これからも一緒に続けていきたいと思います。

普段何気なく言っている言葉(あいさつ)ですが、子どもから言ってくると、やはり気持ちがいいなと感じました。どちらが先に言う、言われたら言うという決まりがない言葉なので、自分(親)もたくさん言おうと思いました。

子どもの次の行動についてすぐに口を出したくなるのですが、時間を空けることを意識しました。子どものペースを意識することで、子どものニコニコも増えたような気がします。

話を聞くことはしているけど、なかなかじっくりとはできていなかったと思う。短い時間でもしっかりと向き合っていきたいと思いました。

園からの感想や工夫等

園での今の子ども様子の写真やこれから育ててほしい点など園と家庭で育てていきたいことを共有できるように園長が「しおり」を作成し、家庭に配付しました。

クラスだよりで取り組み状況や保護者の感想を載せ、家庭に発信しました。夏休みにも約束を決めて取り組む「なつやすみのくらし」があるので、こちらにも意識を向けることができました。

みんなの前で目標を発表したことで、同じ目標を立てた友達と「昨日〇〇のお手伝いをしたんだ。」とニコニコチャレンジの内容で会話が盛り上がっていました。友達に刺激され、頑張ろうとする姿が見られ、よい取り組みだと感じました。

ニコニコチャレンジをきっかけに、日頃の家族の過ごし方を見つめ直すことができたのではないかと感じています。親子で目標を話し合っ決めて取り組むことも良い取り組みにつながったと思います。

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・親子で一緒に取り組むことで、お互いに意識し合えたことがいい効果と呼び、よい習慣作りのきっかけにすることができた。
- ・取組期間(2週間)が家庭によって長いや短い等の意見はあったが、2週間の取組期間は「習慣化」を意識し、各家庭で習慣化していくための「チャレンジ期間」として継続していく。
- ・園で取り組みを話題にしたり、園だよりやクラスだより等で取り組みの参考になる内容を発信したりするなど取り組みを連動させることで、より子どもの意欲が高まっている。
- ・家族での取り組みを2回目も行い、家族で話し合っ目標設定して取り組めるよう促していく。